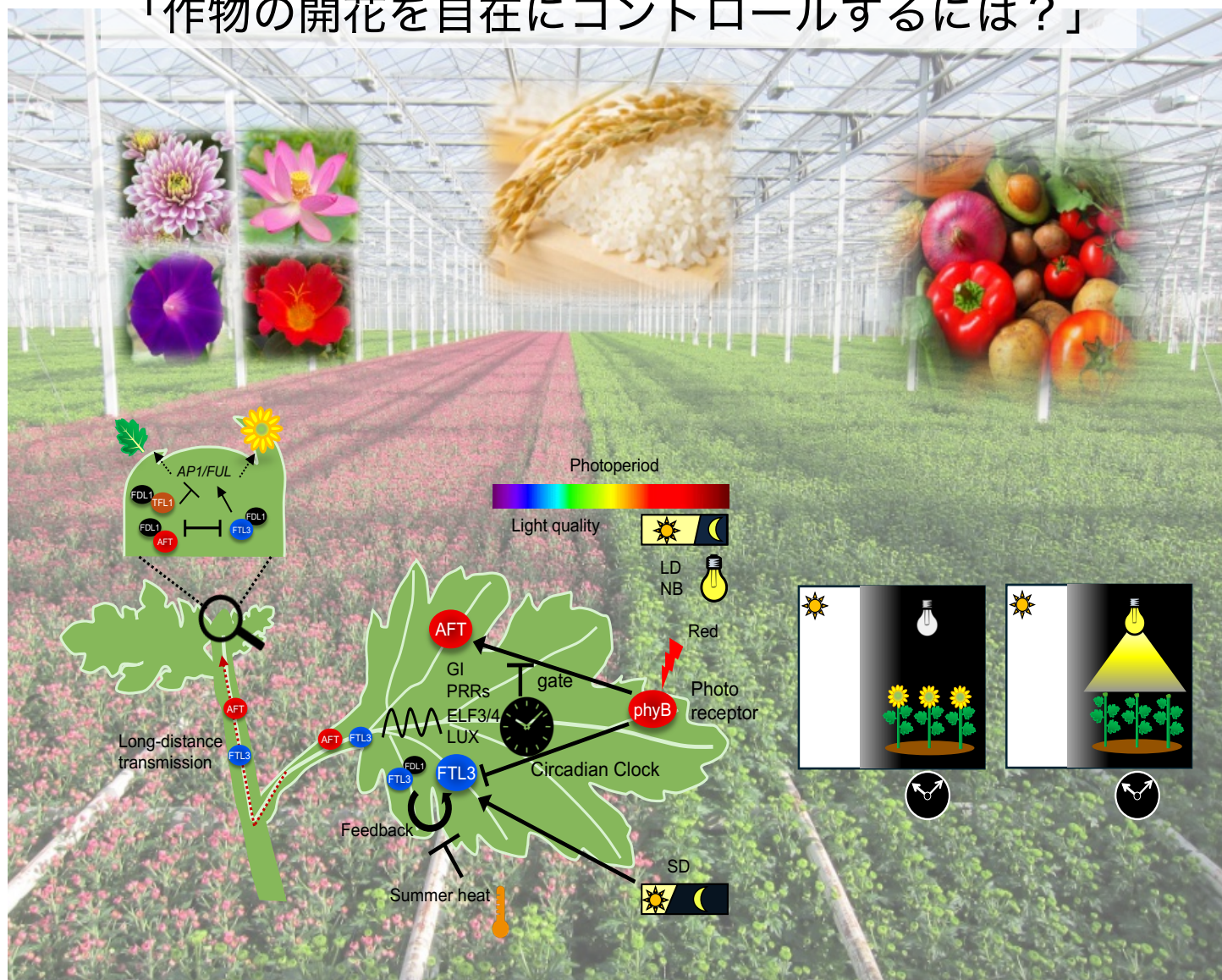


植物の発生と分化 研究セミナー 兼
第82回形質転換デザイン研究拠点セミナー・T-PIRCセミナー

「作物の開花を自在にコントロールするには？」



講師：樋口 洋平 准教授
東京大学、農学生命科学研究科

日時：令和7年11月13日 15:00~

場所：生物農林学系棟G504 (Teams併用)

Teams参加コード：vs4qqm1



植物の「開花」を制御することは、主食用の穀物だけでなく、果物、野菜、花などの園芸作物の安定供給にも重要です。近年の地球温暖化により開花遅延や着果不良が起こり、世界中で作物の安定生産が脅かされています。開花制御の分子メカニズムは主にシロイヌナズナやイネなどのモデル植物・作物で研究が進められてきましたが、全ゲノム配列の取得が容易になったこと、ゲノム編集ツール等の開発により、さまざまな植物の開花制御メカニズムを解き明かす試みが進んでいます。本講演では、キクやアサガオをはじめ、非モデル植物で明らかになった開花制御機構を中心に、環境応答機構の保存性と多様性について解説します。

世話人：生命環境系 (T-PIRC) 菊池 彰